

令和元年度 第2学年 国語科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の実態と課題</p>	<p><実態> 児童の書くことに関しては、作文を苦手とする児童が多い。そのことで、文章を書ける子と書けない子の格差がある。 また、伝えたいことの中から何を大切に書いて書けばよいのか、どの順番で文章を書いていったらよいのかを考えることができていない。</p> <p><課題> ・「はじめ」「なか」「おわり」の構成で作文を書くことが身に付いていない。 ・内容について、詳しく、長い文章に表すことができない。</p>	
<p>重点的に育成すべき【資質・能力】</p>	<p>・「はじめ」「なか」「おわり」の構成を意識し、「おわり」には、内容をまとめたことを書くことができるようにする。 ・1つの内容を、詳しくたくさんのかことを書くことができるようにする。</p>	
<p>【授業改善策】</p>	<p>授業改善の手立て</p>	<p>・お手本を視写させる。 ・「はじめ」「なか」「おわり」のフォーマットで、書き出し言葉を与える。 ・1つの内容について、いくつかの視点を与える。</p>
	<p>実践する単元</p>	<p>単元名：しかけカードの作り方 指導時間：6時間 指導時期：11月頃</p>
	<p>単元における具体策</p>	<p>・教科書の作例を、「はじめ」「なか」「おわり」の構成で、視写させる。 ・自分の作品の作り方を、「はじめ」「なか」「おわり」に分けて、構成メモに書かせる。 ・構成メモが正しくできてから、清書をさせる。</p>

令和元年度 第2学年 算数科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の 実態と課題</p>	<p><実態> (関心) ・練習問題に意欲的に取り組む児童が多い。 ・3クラス+1の習熟度展開になり、児童の理解に応じた指導から意欲が増している。 (数と計算) 繰り上がり繰り下がりひっ算をすることができるが、クラスに5名程度、10の合成分解が瞬時に理解できず、指を使ったり、図を使ったりして理解している。 (図形) まっすぐな線を引くことが難しい。道具の取り扱いが難しい。 (測定) 長さや時計において目盛りを読むことを苦手な児童が多い。 (データの活用) 具体物を見て表にすることができる。</p> <p><課題> ・計算の技能はだいたいの児童が身に付いている。 ・自分の考えを書いたり説明したりするのが苦手な児童が多い。 ・文章問題を読み取ることが苦手な児童が多い。 ・ノートを取ることが難しい児童がいる。</p>	
<p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計算力(速さ、正確さ、対応力)を身に付ける。 ・数量についての豊かな感覚を養う。 ・数学的に考えることや数理的な処理のよさに気付き、算数の学習を進んで生活や学習に活用しようとする態度を養う。 	
<p>【 授 業 改 善 策 】</p>	<p>授業改善の 手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題は文章とともに具体物や半具体物を用いて理解を助ける。 ・児童の実態に合った問題数を提供し、実態に応じて反復練習を行う。
	<p>実践する 単元</p>	<p>単元名： _____ あたらしい計算を考えよう _____ 指導時間： <u> 25 </u> 時間 指導時期： <u> 10月から11月頃 </u></p>
	<p>単元における 具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物や半具体物を使い、数量についての感覚を豊かにする。 ・乗法が日常の場面に広く使われていることを紹介し、身近に感じられるようにする。 ・九九暗唱にトークンや賞状をだし、意欲が持続し、楽しく暗唱できるようにする。 ・習熟度に応じて補助教材を使い、理解の助けとする。 ・学習支援員、CS補助員に九九暗唱を聞いてもらう。

令和元年度 第2学年 生活科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の 実態と課題</p>	<p><実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発問に対して発見や感想を視点を与えると、答えることができる。 ・言うことはできるが、書くことや表現は経験が不足している。 ・学校紹介では2年生として優しく1年生に接し、校庭を案内することができた。 <p>(思考判断)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校案内では、どの教室についてどのような説明をすればよいかを考え、分かりやすい言葉や短い言葉で説明するように工夫していた。 ・野菜名人では、気が付いたことや感じたことを、具体的な大きさを、算数科や国語科で学んだこと順序を使って表現することができる。 <p>(気づき)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物大好きではプールのヤゴを救出することで小さな虫でも生命をもっていき、とんぼに変態することに気が付いた。 ・1年生に親切に接するやりがいを感じ、一緒に遊ぶことの楽しさに気付いた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活経験が乏しく、初めて経験するものについては取り掛かりが遅く、感想をもつまでに時間がかかる。 	
<p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や自然、自分の身近な人々とのかかわりに関心をもてるようにする。 ・体験を通して気づいたことを分かりやすく絵や、文で表現し、友達の気づきから自らの考えを深める。 ・社会及び自然、身近な人々について考え、気付いたことを言葉で表現する。 	
<p>【 授 業 改 善 策 】</p>	<p>授業改善の 手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と交流する場を多くもち、興味、関心意欲が違った方が新しいものが生まれることを知らせる。 ・具体的な活動や体験について考えたり、調べたり、表現できるような機会を増やす。 ・自分の考えをもてるように経験したことを学習カードにまとめる時間を確保する。
	<p>実践する 単元</p>	<p>単元名：<u>えがおのひみつたんけんたい</u> 指導時間：<u>28</u>時間 指導時期：<u>10月</u> <u>11月</u>頃</p>
	<p>単元における 具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人と自分たちの生活がつながっていることに気が付く ・地域の人と交流することの楽しさやよさに気が付く。 ・自分が行ったところのことが少しわかってくると関心が高まることから、意欲を継続し、新たな疑問や体験への意欲につなげる。 ・発表をすることを伝え、目的意識をもって学習カードを書き、その時間を確保する。 ・インタビューや体験して分かたり考えたりすることを表現する活動を通して、相手に応じて適切な話し方をすることや、友達や地域の人と交流することの楽しさやよさを感じることができるようになる。

令和元年度 第2学年 音楽科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の 実態と課題</p>	<p><実態> (意欲) ・音楽の授業を楽しんでいる児童が多い。 ・新しい楽曲を積極的に覚え、意欲的に取り組む様子が見られる。</p> <p>(表現の創意工夫) ・音楽を聴いて、手拍子をしたり、体全体を動かしたり、踊ったり見本をもとに学習している。</p> <p>(技能) ・音階を覚えて歌うことができるようになってきた。 ・鍵盤ハーモニカでは、指番号どおり引くことは難しい。</p> <p>(鑑賞) ・音楽を聴いて自然に体を動かし、口ずさんだりしている。</p> <p><課題> ・音楽活動の楽しさを引き続き継続する。 ・「歌う」声の習得 ・音階や指番号どおり引く技能を身に付ける。 ・音色を聴いてどんな感じか口頭で表現できるようにすることが必要である。</p>
<p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・友達の歌声や学期の音を聞きながら、みんなで合わせて演奏することができる能力。 ・音だけでなく、気持ちを合わせて演奏することの喜びを味わう。</p>
<p>【 授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓</p> <p>授業改善の 手立て</p> <p>・身体表現をしたり、友達と一緒に歌ったり、演奏したりすることで意欲を高める。 ・歌詞の意味を考え、歌い方を工夫する活動を取り入れる。 ・運指に気を付けて演奏をさせる。</p> <p>実践する 単元</p> <p>単元名：<u>うたごえとがっきの音をあわせてえんそうしましょう</u> 指導時間：<u>4</u>時間 指導時期：<u>2</u>月頃</p> <p>単元における 具体策</p> <p>・挿絵や菓子などから曲全体の感じをつかんで歌う。 ・パートで演奏することで階名暗唱したり、運指に気を付けながら鍵盤楽器で演奏したりする。 ・音の長さに気を付けながら拍の流れを感じ取って演奏する。 ・友達の歌声や学期の音を聞きあいながら気持ちを合わせて演奏する楽しさを味わう。</p>

令和元年度 第2学年 図工科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の実態と課題</p>	<p><実態></p> <ul style="list-style-type: none"> 想像力を働かせて、材料の形や色を工夫して表現することが難しい。絵の具やはさみなどの道具を使うことに慣れていない児童もいる。テーマをもって、想像やイメージを膨らませることができない。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 用具を正しく使う。 発想や想像を膨らませる。 	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に育成すべき【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 用具を安全に正しく使うことができる。 素材を生かして、想像をする。 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【授業改善策】</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>授業改善の手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> 用具の安全な使い方を教え、練習させる。 素材の形、色、大きさから、どんなものに似ているか、イメージの観点を教える。
	<p>実践する単元</p>	<p>単元名：ピコリン星 ゆめのステージ 指導時間：4時間 指導時期：3月頃</p>
	<p>単元における具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> カッターナイフの使い方では練習用の教材を与え、切らせる。素材によって、扱い方が違ってくることを教える。 たくさんの作品例を見せ、自分が選んだ素材から、どのようなものを作るのか決めさせる。 色や形を、組み合わせを考えさせ、ピコリン星の人をイメージさせる。

令和元年度 第2学年 体育科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の 実態と課題</p>	<p><実態> ・本校、第2学年の児童は、体育の授業を好きと答える児童が多い。運動にたいして前向きであると言える。もっといろいろな技に挑戦してみよう、いろいろな場でやってみようという気持ちが強くなり夢中になって取り組むことができる。 また、教師が掲示したコツやポイント、その場での動きなどはしっかりと守り、習得しようと一生懸命に取り組む。</p> <p><課題> ・友達の動きや発言を通して、関わりながら体育の授業をおこなうこと。 ・自ら考えて、上達するには、どうすればもっと楽しく運動遊びを行えるのか工夫して体育の活動を行うこと。</p>	
<p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・運動にすすんで取り組み、決まりを守り仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。 ・様々な運動に取り組み、多様な動きを見につける。自分で動きを工夫する力を育成する。</p>	
<p>【 授 業 改 善 策 】</p>	<p>授業改善の 手立て</p>	<p>・友達同士のかかわり合いを増やす。発見した工夫を発表して友達に広げる活動を1単位時間の中に組み込む。 ・工夫した動きを価値づけする。考えた動きを全体に紹介して価値付けをする。そうすることで、友達の動きを真似したり、違う動きを考えたりして動きを広げていく。</p>
	<p>実践する 単元</p>	<p>単元名：<u>マットを使った運動遊び</u> 指導時間：<u>6</u>時間 指導時期：<u>10</u>月頃</p>
	<p>単元における 具体策</p>	<p>①学習過程の工夫 児童が楽しみながら、基礎的な運動感覚やマット運動の技を身に付けながら運動遊びに取り組めるように、「じゃんけんすごろく」と「〇〇ランド」の2段階の学習過程を設定する。「じゃんけんすごろく」では、学習指導要領解説に載っているさまざまな動きに友達と楽しく取り組めるようにゲーム形式で行う。「〇〇ランド」では、体育館をいくつかの場で構成されたテーマパークに置き換え、楽しみながら運動遊びに取り組めるようにした。</p> <p>②工夫のイメージ 児童がそれぞれの場で工夫できるよう、シンクロやマズゲームの映像を児童に見せる。また場は、児童が工夫しやすいと思われる場を設定したい。</p>